

聴講歓迎・参加無料

令和 7 年度第 1 回シンビオ社会研究会講演会のご案内

～シンビオ社会研究会の 27 年の歩みとその新たな展開～

日時:令和 7 年 5 月 29 日(木) 15:00-17:10(開場 14:45)

会場:宇治市五ヶ庄 京都大学宇治キャンパス 総合研究実験 1 号棟 4 階遠隔会議室 HW401 号室及び ZOOM によるハイブリッド形式

交通:JR 奈良線黄檗駅または京阪宇治線黄檗駅下車 地図は[こちら](#)

主催:NPO 法人 シンビオ社会研究会

共催:京都大学エネルギー理工学研究所

協賛:日本保全学会西日本支部

【ご挨拶】

シンビオ社会研究会では、平成10(1998)年7月7日に宇治キャンパス木質ホールで開設記念講演会を行って以来現在まで27年間にわたり、大学と社会が「エネルギーと社会・環境の関わり」をともに考える場としてパブリックアウトリサーチ活動を続けてまいりました。それ以来、当会の会長を務めてこられた吉川榮和理事がこの度、同職を退任され、役員体制の世代交代を行って新たな方向への展開を期することいたしました。

そこで今回に講演会では、これまでの当会の活動を振り返るとともに「カーボンネガティブ」をキーワードにした新たなエネルギー研究の展開に関する講演を通じて、環境とエネルギーの未来を考える講演会として、下記の通り企画いたしました。

長かったコロナ期間がようやく終焉したこともあり、以前のように現地会場での懇親会も復活余すので、より多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

つきましては懇親会を含めて講演会準備の都合上、講演会に参加の方は、参加申込の要領にて5月16日(金)までにお申し込みください。

(講演会世話人) 理事:森下和功、吉川 遼

~~プログラム~~

司会:森下和功 理事

★開会の挨拶 15:00~15:15

「シンビオ社会研究会の今後の取り組み」 新会長(候補) 吉川 遼 理事

★講演1:15:15~16:15(講演50分 質疑10分)

講演題目:「カーボンネガティブエミッションを目指して」

講師:野平俊之(のひら としゆき)氏(京都大学エネルギー理工学研究所・教授)

略歴:1993年京都大学工学部原子核工学科卒業、95年 原子核工学専攻修士課程修了、98年同博士後期課程修了、博士(工学)、98年 京都大学エネルギー科学研究科助手、07年 同准教授、15年 京都大学エネルギー理工学研究所教授、25年 京都大学エネルギー理工学研究所附属カーボンネガティブ・エネルギー研究センターセンター長、現在に至る。専門は、熔融塩およびイオン液体の電気化学、高温熔融塩を用いたCO₂からのダイヤモンド電解合成、高温熔融塩を用いた太陽電池用シリコンの製造、イオン液体を用いたナトリウム二次電池など



講演概要:CO₂の実質排出量がゼロである「カーボンニュートラル社会」を実現するためには、排出されるCO₂の削減だけでなく、大気中のCO₂を固定化・有効利用する「カーボンネガティブエミッション」という概念と技術が重要である。近年、再生可能エネルギーを用いた電気化学反応により、CO₂から有用物質を作る技術が注目されている。我々は、炭素を含む有用物質の中でも極めて付加価値の高い「ダイヤモンド」を、CO₂と水というありふれた原料から電気分解で作る研究を行っている。どのような原理でそれを実現しようとしているのか、また、現時点での成果を紹介する。

発表資料・・・後日連絡します

—————休憩 10 分—————

★講演2:16:25~17:05(講演30分 質疑10分)

講演題目:「シンビオ社会研究会—その歴史と今後への期待」

講師:吉川 榮和(よしかわ ひでかず)氏(京大名誉教授)

略歴:1970年京大大学院工学研究科博士課程電気工学第二専攻修了(工学博士)その後京大原子エネルギー研助手、動燃大洗工学センター蒸気発生器部副主任研究員(高速炉安全性試験室)を経て81年8月京大原子エネルギー研助教授(原子炉計測工学部門)、92年8月教授。96年5月新設の大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻教授(エネルギー情報学)に移動。2004年評議員、2005年エネルギー科学研究科長、2006年3月末京大定年退職、同年4月より京大名誉教授。2007年7月より2025年5月29日までNPO法人シンビオ社会研究会会長。原子力安全、マンマシンシステム、エネルギー情報学が専門。



講演概要:シンビオ社会研究会は、1998年4月京大エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻に『エネルギー社会システム計画(関西電力)』講座が設置され、同年同専攻に、大学と社会が『エネルギーと社会・環境の関わり』をともに考える場としてシンビオ社会研究会を開始したことに端を発し、その後シンビオ社会研究会は2006年12月12日特定非営利活動法人として京都府に司法登記した。その発足当時の背景とその後2018年までの経緯は、2018年4月27日シンビオ社会研究会総会講演会で『シンビオ社会研究会の20年を振り返る』と題する講演で発表しており、シンビオニュースアンドレポート Vol.(7), No.(1), Year(2018)としてPPTと講演記録が掲載されている。(URL・・・[こちら](#))

本講演では講演者が 1998 年当時から本年会長を退任するまでの変遷の歴史をその活動成果を中心に振り返るとともに、2021 年 8 月に京都市から宇治キャンパスに事務所を移転して以来の新たな方向の取り組みを展望して、今後のさらなる発展を期待する。

発表資料・・・後日連絡します

★閉会の挨拶 17:05～17:10 塩路昌宏 理事

★講演会終了後 懇親会 17:30-19:30

会場：宇治キャンパス内(部屋未定)

会費：5,000 円程度(講演会会場受付時に申し受けます)

-----参加申し込み要領-----

令和 7 年度シンビオ社会研究会講演会の参加連絡票

氏名()

所属()

メールアドレス()

電話番号()

シンビオ講演会に参加を申し込みます・・・(☐ 会場参加 ☐ W e b 参加) どちらかに
懇親会に・・・(☐ 参加します ☐ 参加しません)

★申込先：シンビオ社会研究会事務局（右をクリック  symbio.reserch.office@gmail.com）

★発表資料及び Z O O M 参加の方へ

5 月 27 日(火)までに、講師の方の発表資料の P P T、及び Z O O M の招待案内のメールをお知らせする予定です。もし 5 月 27 日(火)を過ぎても連絡のないときは当会事務局までご連絡ください。

<通信欄>

=====

特定非営利活動法人 シンビオ社会研究会

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所内

○TEL/FAX 0774-38-3482

○<http://sym-bio.jpn.org/>

○E-Mail: symbio.reserch.office@gmail.com

=====

★表示がない部分のあるかたはシンビオ社会研究会事務局までご連絡ください・・・ [こちら](#)

以上